



院長ご自身も中学時代の歯科医師との出会いで、この職業を選んだという「ベイタウン矯正歯科」では、この日半日を休業にして2人の中学生を受け入れた。
(写真上) 中学生のひとりが患者役になり、実際に歯形をとる。歯科医を希望していても実際に人の歯形をとるのは初めて、思わず気分が悪くなるが、これも体験だ。
(写真下左) パソコンを使って作業の流れを説明する吉田院長(奥)と中学生2人(手前)
(写真下右) さっき取った歯形を、実際に石膏を使って再現する。美術の授業が歯科医の仕事に役立つとは…。



打瀬中学校では毎年3学期に1年生全員が近隣の商店やオフィスなど様々な場所で職業体験の授業を行っている。今年は去る2/5(水)この授業がベイタウン周辺で行われた。この日、1年生たちが訪問した職場は、農園、スポーツ店、サイクルショップ、ファーストフード店、パン屋さん、美容室、保育所、レストランなど22カ所。どの職場も子どもたちが希望し、自分で選んだ職場だ。この授業のために中学では多くの職場に受け入れを打診し、予めリストを用意して生徒の希望を聞いた、受け入れを了解してくれた職場でも生徒の希望がない場合にはお断りしたという。受け入れを要請しておきながら断るときなど、交渉にあたった先生方のご苦労は大変だったと思うが、おかげで子どもたちは100%希望の職場で将来の夢の職業を体験できたことになる。

職場訪問は打瀬中学校創立当時からつづく恒例の授業だ。最初は街に商店も少なく、遠くは習志野や八千代まで希望の職場にかけける子どもたちもあったという。だが、最近はベイタウンにもいろいろなお店ができ、生徒の希望の大半をベイタウンとその近辺で満たすことができるようになった。

かつて、僕らが子どもの頃、街には食堂や和菓子屋さん、家具職人の作業場や薬局など様々な職場があり、毎日の通学の途中で寄り道をしては「職場訪問」を行った。街の職業人とのふれあいで得たものは、今も僕らの生きる力になっている。希望が変わることもあり、おそらく大半の中学生が今日の職場訪問で体験した職業につくことはないだろう。だが、この日街の職業人とのふれあいで得たものを、未来を生きる力にしてもらいたい。
【松村】



「みなさん、今日は地元の打瀬中学校の生徒さんが、職業体験の授業でこの幕張メッセに来てくれました。将来メッセの仕事をしたいという頼もしい中学生です。どうぞよろしくお願いします」。受け入れを担当してくれた中根さんの案内で間仕切りのない広いオフィスに入ると、仕事中の職員の方40人ほどが全員立ち上がって、大きな拍手で5人の生徒を迎えてくれた。



夢を先取り 地元で 打瀬中学校1年生が職場体験



(写真上) 家でも料理が好きという男子中学生(手前)はひとりでレストラン「ジャイネパール」へ。シェフがおどろく程、手慣れた様子でサラダを作っていた。
(写真右上) 2番街「ファミリーマート」で、制服を着てレジ係を体験する女子2人。お客様に好印象を与えるのは簡単ようで難しい。
(写真右下) 4番街の自転車店「セオサイクル」でパンク修理を習う中学生。やってみると意外に面白い。「これから家の自転車のパンクは全部自分で直すぞ!」



京劇が好き、中国が好き、中華料理が好き!?

興味がある方熱烈歓迎!

「まくはり京劇クラブ」誕生!!

最初はビデオ鑑賞会

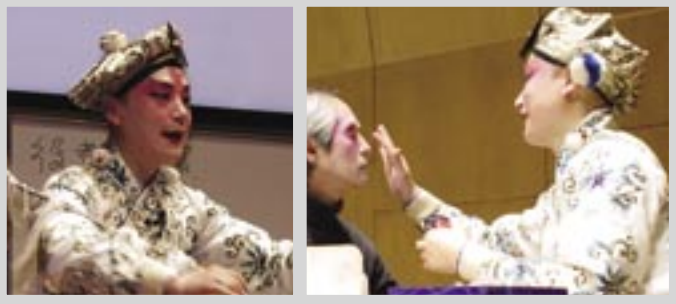
4/5(土) 10:00 ~ 12:00

会場:公民館ホール(コア内) ※当日は京劇の役者ルーさんの解説を予定。

京劇は約 200 年の歴史を持っています。それは中国のいろいろな地方劇を総合してできた劇種です。京劇は「北京オペラ」または「国劇」も呼ばれ、中国を代表する劇です。俳優は舞い、歌い、そしていろいろな所作をします。歌舞伎と違って俳優自身が歌わねばなりません。

伴奏する楽器は、打楽器は大きい銅鑼、小さい銅鑼、シンバルで、指揮者は、木の板と単皮鼓(片面だけ皮を張った鼓)を鳴らして楽団を指揮します。弦楽器は、高音胡弓、中音胡弓と月琴(月のように真ん丸い形をした中国ギター)です。

京劇好きが集まって、手始めに京劇ビデオの鑑賞会を行います。隣国、中国の伝統文化を鑑賞しましょう。



写真は2月に開かれた「京劇入門講座」より

主催: まくはり京劇クラブ

◆クラブへの参加者募集中!一緒に京劇をやりませんか?

連絡先: 渡辺賢司

kj.wtnb@aa.bb-east.ne.jp

＜魯大鳴(ルー・ダーミン)さん＞

北京生まれ。北京市戯曲学校卒。北京風雷京劇団で活躍。1987 年来日、日本語も達者。櫻間真理、野村萬斎氏らとの能「楊貴妃」競演や宝塚歌劇団への京劇指導のほか、京劇「桃太郎」を創作。伝統の世界に新しい風を吹き込み、隣国で新境地を開きつつある。著作「京劇への招待」(小学館)など。44 歳。津田沼で日本人の奥さんと暮らす。



MAKUHARI

Bay Town CORE

読書離れが云々されている昨今ではあるが、打瀬分館は地域に根ざした生涯学習資料の場として、大勢の方が、みずからに即した本をそれぞれに借りに来られている。CD・テープ・ビデオについてもそのとおり。また、リクエストも多い。

読書を『広辞苑』で見てみると、最初に「書物を読むこと」とある。次からが深い意味を含んでいる。「読書三到」について、本を読む時は心・眼・口に到にあると言っている。すなわち、本を読む時は心・眼・口をその本に集中して、熟読すれば内容がよくわかるという。「読書尚友」ともある。これは書物を読むことによって古の賢人を友とすることの意である。他の事柄も載っている。

また、『格言集』に「書を読みて榮える者を見たり、書を読みて落ちぶるるを見ず」ともあった。

本との出会いによって、人格形成に影響を及ぼすこともあるわけで、その役割を少しでも果たしていきたいと、職員一同、利用しやすい分館として、努力していく所存である。

ある日の コア風景



図書館から TEL.272-4646

日月は早い。開館したと思ったら、もう一年が終わろうとしている。利用者数や貸出し冊数は、年度の計として次回に回したいと思うが、高い数字を示すことは間違いない。

公民館から TEL.296-5100

3/15(土)10:30 ~ 13:00 フランスの家庭料理 (1回)
~牛タンのシチューとフルーツケーキ

■先着 16 人

用意するもの: エプロン・三角巾 (スカーフ・バンダナでもよい)
・食器拭き用ふきん・手拭きのタオル・材料費 1,000 円

3/15(土)10:00 ~ 12:00 「知って安心、健康講座」~
成人病予防の食事について

■先着順

3/22 (土) 10:00 ~ 12:00 中高生のための楽しい料理
講座~クレープでおいしく

■先着 14 人

用意するもの: エプロン・三角巾 (スカーフ・バンダナでもよい)
・食器拭き用ふきん・手拭きのタオル・材料費 500 円

新しい公民館サークル紹介

公民館主催の講座から活動を始めた、できたてほやほやのサークルをご紹介します。参加は随時、公民館にお問い合わせください。

「打瀬かな書道」第 2・4 金曜日 13:30 ~ 会費 2,000 円

2 月から始まったばかりです。会員募集中。かなを書いてみたいとお考えの方のご参加お待ちしております。

「太巻きずしサークル」第 3 水曜日 9:30 ~ 会費 2,000 円

月 1 回の季節の太巻きずしを楽しく学んでいます。場所の都合で会員募集は現在していません。ごめんなさい!

★ただ今、公民館講座「絵手紙」と「着付」が開設中です。公民館サークルとしての活動が始まりましたらお知らせいたします。

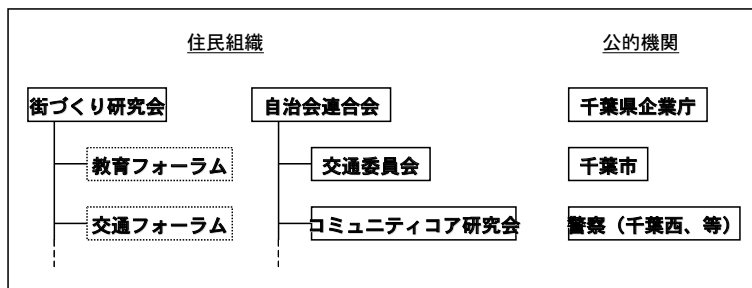
第5回 ベイタウンフォーラム 「交通問題を考える(3)」

12月、1月に引き続き、3回目となった交通問題に関するフォーラムだが、実は今回は開催が危ぶまれていた。主催者である街づくり研究会（以後、街研）のスタンスが定まらず、直前まで何をどこまでやるかをまとめられなかったためだ。1回目に交通委員会からの提言を中心に問題認識を行い、2回目には街づくり当初の計画／意図および実態との乖離を認識し、これを正していく必要性を確認したが、では実際どう進めていくべきか、となったときに、これまでの街研およびフォーラムの立場だけでは実効力が疑問視された。すなわち、街研やフォーラムでは、広く住民が意見・情報交換し、「提言」のようなものをまとめることはできるが、それを千葉県企業庁や警察などに住民要望として提出し、交渉しようにも、相手からは住民代表の正式窓口とは認識されていない。また、関与する立場によって、当面の課題である事故をどうするかにプライオリティを置く人や、路上駐車の問題のように長期的かつハード的な側面を持つ課題にプライオリティを置く人など様々だ。

それでも、街研のメンバーは仕事等で忙しい中を時間を割き、「今回は具体的な取り組み方を自治会連合会、交通委員会など含めて相談する『うらフォーラム』として開催しよ

う」というところまで漕ぎ着けた。そんな事情もあり、今回のフォーラムは街区の掲示など公式の開催案内はなしに、これまでフォーラムのメーリングリストに登録した人や、自治会連合会、交通委員会などの一部の関係者に声をかけて開催された。

フォーラムでは参加者全員で、誰が、どんな形態で、どのようにこの問題に取り組んでいくべきかが議論された。当面の当時者としては、図で示すように、街研（フォーラムは組織でなく、テーマであるので点線とした）、自治会連合会およびその下部組織である交通委員会、ベイタウンの開発主体であり、現管理者である千葉県企業庁、ベイタウン開発完了後に移管を受ける未来の管理者である千葉市、道路使用の監督者である警察などがある。この中で、公的機関が公式な住民窓口として認知しているのは自治会連合会であり、街研はいくつかある住民ボランティア組織のひとつでしかない。一方の交通委員会は、自治会連合会に参加する番街から選出された委員で構成されているが、「ぜひ交通問題に取り組みたい」との意気込みで参加した人間ばかりではなく、またベイタウン全体をみたときの



カバー率も低いと言わざるを得ない。このような状況を認識し、皆で話し合い、出された案が「交通委員会の元で、今回の一連のフォーラムに参加している人や、自治会連合会に参加していない番街の人、打瀬の会や海浜打瀬の会（小学校の父母会）、ベイタウンの商店会など、参加希望者を広く集め、交通問題を議論し、解決していくワーキンググループを作ろう」というものだ。公的には交通委員会を窓口とし、実運営はオープンに行うという点では、コミュニティコア研究会（通称コア研）と似ている。もちろん、街研も街づくりという視点でこれまで通り積極的に参加・支援していくことになる。

今後は、自治会連合会交通委員会の主催で、上記のような位置付けのワーキンググループ開催の案内および参加の呼びかけが行われる運びとなりそうだ。この問題に関心のある人は、各街区の掲示板を注意深く見守り、案内があったときには忘れずに名乗りをあげてもらいたい。【板東】

来年度の子どもルームについて

4月から1学区1ルーム体制がスタート。現在コア横に建築中の建物が「打瀬子どもルーム」（80名定員・打瀬小学区）となり、現在のコア内子どもルームは「海浜打瀬子どもルーム」（100名定員・海浜打瀬小学区）に。

これは、平成15～17年度までの3年間の暫定措置です（18年開校予定の打瀬第3小にはルーム併設の見込み）。その期間の児童数増加は海浜打瀬小の方が多く、ルーム利用者も80名を超えると予想されるため、上記決定となりました。本建築とプレハブという施設の差はありますが、長い交渉の末にやっと実現した学校分割です。新規利用の皆様にも、ご理解とご協力、お願いいたします。

■大規模化の弊害

打瀬子どもルームは本年度（平成14年度）よりコミュニティ・コアに移設されましたが、利用児童数が100人を超える千葉市最大のルーム（平成14年4月当初108名利用）であり、大規模化の弊害が深刻でした。あまりにおびただしい数の子ども達が一堂に会しているため、読書や宿題がゆっくり出来ない等、放課後の生活の質確保の問題だけではなく、災害時の安全確保の点でも大きな不安がありました。当父母会では昨年度来、千葉市に対しルーム分割運営を要望し、本年度の父母会体制も整った6月より要望書を携え、数回に渡って市役所へ足を運び、夜遅くまでの協議を行ってきましたが、市の用地獲得の動きは具体的に進展しませんでした。

■難航した規模の交渉

動いたのは昨年9月。突然、「第2子どもルームは消防署裏・64名規模で予定」と市から連絡。該当する場所は安全面で不安があり、規模は1学区1ルームに必要な80名に達しないものでした。しかも、10月15日の市政だよりには住民の同意もなく新ルーム住所が掲載されていました。場所についてはその後、街の皆様のご支援によりコア横に変更されましたが、規模を学校分割に必要な80名とすることについては、市の財政事情もあり、時間がかかりました。

■ベイタウンでの3者会議

昨年11月には市・父母・街の3者会議がベイタウン内で2回実現しました。自治会連合会、コア研、民生児童委員といった街の各団体代表の方に参加頂いた事で、市の対応も非常に真摯なものとなりました。父母会でも、「他地区との兼ね合い」「打瀬だけ特別扱いできない」という市の論理に対して、規模の要望が正当なものであることを示すデータを収集し、要望しました。他地区の子どもルームの施設規模と利用人数を調べ、64名規模の根拠とされた市教委の児童数推計値の妥当性も検討しました。結果として、1学区1ルームという父母会の総意を踏ま

え、前向きに検討するというところまで、市の姿勢は変化しましたが、正式の回答は先延ばしされました。

■市長宛に要望書を提出

「それでも年内には」の期待むなく、回答は年を越しました。ちょうど予算編成期で市内部での調整は遅々として前に進まなかった様です。そこで、年明けて、前述3団体に加え、育成委員会のご協力も頂き、5者連名で市長宛の要望書を作成しました。文面、提出方法についてもアドバイスやお力添えを頂き、担当助役経由で手渡しを致しました。そして1月31日、待望の80名規模決定の回答が届いたのです。

■街の皆様へ

このように場所・規模とも最終的に要望どおりにできたのは、「街全体で子どもを育む」という気持ちで支援して下さった街の皆様のおかげです。ありがとうございました。さらに、本当の意味での1学区1ルーム実現のためには、3校体制となった際に、各小学校の子ども達が恒久的に利用できるルーム用地の確保など、先を見据えた活動を続けていかなければなりません。今後とも皆様のご理解をいただきながら前に進んでいければと思っております。

また、新ルーム建築工事のため、近隣の方々には今しばらくご迷惑をおかけしますが、なにとぞ、ご容赦のほど、よろしくお願いたします。

【文責：打瀬子どもルーム父母会】

3月のコア・イベントカレンダー

(3/8～3/31、サークル開催分は除く)

3/8 (土)

第二回アジア講座「サンダル之国から」

時間：午後2:00～3:30

場所：ペイタウン・コア講習室、入場無料、先着80人。

講師：高橋敦史（ライター＆フォトグラファー）

主催：幕張ペイタウン・コミュニティコア研究会

3/15 (土)

「プロに聞く漫画家のなりかた」

時間：午後2:00～3:30

場所：ペイタウン・コア講習室

講師：山崎峰水（雑誌「ガンダムエース」にてモビルスーツ「MS-06 ZAKU」開発秘話「デベロッパーズ」を好評連載中）

魅力的なキャラクターの作り方や効果的なセリフのしゃべらせ方など、漫画制作のノウハウの数々を山崎先生から聞き出そう！

3/22 (土)

季節の歌を歌う会

高齢者を中心とした季節の歌を歌い、ピアノ演奏を聞く集いを開催します。

時間：午後1:00～

場所：ペイタウン・コアホール・会費無料

3/23 (日)

サイ・イェングアン ソプラノリサイタル

Baytown Classic Vol.5

(ペイタウン・コア開館1周年記念コンサート)

ソプラノ：サイ・イェングアン、ピアノ：小森 瑞香

時間：13:30 開場、14:00 開演

入場料：3,500円（全席自由席、ペイタウン内各店舗で好評発売中）

※未就学児童はご入場できません

B

-

I

n

f

O

3/25 (火)

第四回「ファツィオリを弾く会」

時間：午後6:00～8:30

場所：ペイタウン・コア 音楽ホール

入場、見学は自由です。

ファツィオリを弾いてみたい方、弾き込みにご協力頂ける方は、ペイタウン音楽愛好会の大垣（tel:276-3878）までお気軽にお申し込み、ご相談ください。

3/30 (日)

コア・チェンバーシンガーズ合唱祭（混声合唱発表会）

（ペイタウン・コア開館1周年記念コンサート）

曲目：「Believe（ビリーブ）」、「モルダウの流れ」、

「大地讃頌（だいちさんしょう）」他

時間：13:30 開場、14:00 開演 入場無料

場所：ペイタウン・コア 音楽ホール

■東京→福岡→広島→東京→熊本→東京→千葉→千葉→東京→東京→ペイタウン。生まれてからというもの、7年以上同じ場所に住み続けたことがありません。ペイタウンも7年と少し。「7年周期説」を打ち破ることができず、今月末に越します。取材に応じていただいたみなさん、読者のみなさん、お世話になりました。ありがとうございます。千葉市内にはいます。市内でモゾモゾ活動するのも変わりません。まだどこかでお会いしましょう。さようなら。

茂木俊輔（#7-305/T&F211-1066/m38032@pp.ij4u.or.jp）

■最近、ひょんなことから「まくはり京劇クラブ」の設立に首を突っ込んだ。コアで開かれた魯大鳴さんの京劇入門講座に参加した人たちが、自分たちで京劇を上演しようという集まりだ。京劇といえば、中国の歌舞伎にあたる伝統劇。素人の日本人にできるのだろうか。しかし、集まった人々はやる気まんまん。どうやら、中国版セーラームーンといった演目に挑戦することになりそう。とりあえず今から柔軟体操でもしておこう。

佐藤則子（#3-310/T&F211-0090）

■今一番心配していること。マリノアなど海側街区の入居に伴い海岸道路へつながる道が開通してしまうこと。事故が多発していた6・11・15・17番街前交差点と5・8・10番街前交差点に、最近やっと優先道路を示す為、「とまれ」の文字を目立たせるペインティングがされたとは言え、外部からの流入車には分かりにくい状況であることには変わらない。現状でも青空駐車車の列にバスの運行や消防車、救急車の出動に支障があるのに、これ以上車の流入を増やしてもいいはずがない。街づくりを企画している千葉県企業庁が一生懸命対策を考えているとは言え、この問題は実際に住んでいる私たちが一番考え主張すべき事柄である。

金一剛（#3-220/T&F211-0388/ikim@cc.e-mansion.com）

■今月、体調わるく、内服薬の副作用もつらく休ませていただきました。皆さんも、ちょっとでも体調がわるい時は“病気が長引かないように”早めに病院へ！記者：#公園東の街 浜田貴代子（atmark@pop01.odn.ne.jp）

■ニュースのポストに、コアのピアノの件で投書頂いた匿名さんへ。ニュースとしては、匿名希望であっても、連絡先の記載がない投書は残念ながら取り扱うことができません。事実の確認や、認識の誤りの指摘・訂正ができないためです。「匿名希望」と明記して頂ければ、誌面上はそうに扱いますし、編集部は「誰の側」ということなく公平な立場を守っていますので、その点へな気を廻す必要は一切ありません。

板東司（#1-210/T&F211-0289/tbando@dp.u-netsurf.ne.jp）

ペイタウンニュースでは、毎月のニュースを配布して下さる方を募集しています。街が大きくなったペイタウン、ニュースは作るよりも配る方が大変。是非みなさまのご協力を願います。編集部の松村（#10-612TEL:211-6853E-mail:mmatz@m2.pbc.ne.jp）までご連絡いただくか、直接配布の会においでください。配布の会は毎月第一土曜日10:00から、ペイタウン・コア講習室で行っています。次回は4/5開催予定です。

ー つくばエクスプレス、未来へー

つくばエクスプレス（TX）は、秋葉原を起点に、埼玉県八潮市から三郷市、流山市～柏市を抜けて筑波研究学園都市まで58.3kmを45分で結ぶ新しい鉄道です。現在、平成17年度の開業に向けて着々と工事が進んでいます。

TX沿線には、全線で20の駅が計画されていますが、そのうち茨木県内で6駅、つくば市内では4駅（つくば駅、葛城駅、萱丸駅、すべて仮称）が計画され、それぞれに新しい街が誕生します。

つくば市域では、都市公団と茨城県により5地区約1400ヘクタールの街づくりが進められ、そのうち都市公団は3地区約968ヘクタールを担当しています。このうち2地区では既に事業認可を得ており、TX開業に向け、公団は今まさにあわただしく事業を進めている最中です。



都市公団

賃貸住宅のお問い合わせは
総合募集センター津田沼案内所

TEL：047-478-3711

公団住宅の駐車場の問い合わせは
日本総合住生活（株）千葉支店

WHO's WHO 第29回。今回は「ひまわり会」林さんのインタビューを中学時代から本紙に原稿を書く現役高校生、富川真希さんが行った。新進気鋭の16歳が同じ女性として美しく人生をすごしてきた林さんにどんなインタビューをするか。企画した編集部も興味が尽きない。

「今が一番幸せよ。穏やかで…、年をとって…」林郁子さんは今年75歳。でもそんな印象は受けない。初めてお会いしたが、とても気さくで明るく元気で素敵だった。

林さんは3番街の最上階にペイタウンの街開きからお住まいだ。多くの方が読んでいると思う『ペイタウン物語』。実はこの本は私にとっても思い出深い本だ。ペイタウンに住むなんて考えもしなかった頃、手にしたこの本が私をペイタウンに招いてくれた言っても過言ではない。林さんはこの本の企画にも一役買ったという。

林さんのお生まれは福岡。ペイタウンに住む前は新聞記者のご主人とご一緒に、千葉、そして九州と転々とした。千葉に住んでいた頃に趣味で和裁を始めた。教えて頂いた先生に「林さんは子ども好きだから、子どもたちにお手玉を教えてみませんか」と言われたのがきっかけになり、当時お住まいだった小仲台の公民館で教室を開いた。そして今はその腕を生かし、ペイタウンの2つの小学校で子どもたちにお手玉作りを教えたり、寺子屋ペイタウンで手芸講座をしている。「和裁に出会うまでは普通の母親よ。でもこの出会いは大きかったわね」。

そして福岡で出会ったのが染色。この趣

味にも相当熱を入れられた。きっと手先が器用なのだろう。話が弾むうちに林さんは一冊のアルバムを持ってこられた。写っていたのは着物を着た若い綺麗な女性。思わず「キレイ…」と呟いたら、「見て欲しいのは着物よ」と言われた。お孫さんの成人式の写真で、良く似合っている淡い着物は林さんが染められたそう。思わず溜息が出るのと同時に、何だかとても羨ましかった。自分の手に自慢できることがあるというのは、なんて誇らしいことなんだろう。

ペイタウンに来てからはひまわり会の創立にも加わった。今はたくさんできたお友達とグラウンドゴルフをしたり、子どもたちにお手玉やふきんを教えたりと、とても精力的に活動している。たくさんの方と知り合い、その出会いはどれも大切だそう。

林さんは転勤を繰り返しながら娘さんお二人を育てられた。今は

お孫さん達も大きくなり北海道から沖縄まで、日本全国に散らばっている。それぞれお元気で自分が本当に好きなことに向かって頑張っているそう。今の年齢になられるまでには様々な事があり、こんなに穏やかな日が来るとは思ってもみなかったという。「みんなが元気で充実していて、そんな毎日がいまはとても幸せ」。とてもいい表情の笑顔だった。何と言うか、16歳の私にはとてもかなわない年を重ねた重みが「幸せ」という言葉に感じられた。私も毎日が幸せだと感じることはある。でも林さんの幸せとは比べられない気がする。私もいつか、笑顔で自分の人生を語ることができる日が来ればと思った。人生の先輩からたくさんのことを学べた思い出深いインタビューだった。

【富川】



こども・まち・がっこう シリーズ Vol.11

海浜打瀬小学校 「はば夢」

2月8日（土）海浜打瀬小学校で「はばたけ夢の子発表会」が開催された。子どもたちが親しみをこめて「はば夢」と呼ぶこの発表会は、昨年の9月からとり組んできた総合学習の成果を個人・学年・クラブ活動に分かれて発表する学習成果発表の場だ。8時20分から始まったオープニングセレモニーに続いてそれぞれのグループに分かれて発表をした。【金】



2年生「きらりかがやけひとりひとりチャンピオン」の発表



(写真上) 1年生「こんなにあるよ、できるようになったこと」、(写真右) 中庭がステージに、(写真下) 6年生「世界・日本ふしぎ発見」





「リンコス」なら何か発見できます。



選りすぐりの鮮度とこだわりの美味しさをお届けします。



リンコス・ベイタウン店

千葉市美浜区打瀬 1-2-1
☎0120-673570

営業時間
AM10:00~PM10:00

